

多良間村における新型コロナウイルス感染症への対策案

2019.4.1 版 多良間診療所 山中裕介

- | |
|--|
| <p>1) できる限り離島にウイルスを持ち込ませないこと
2) 離島で感染症が発生した場合に拡大させないこと
を最大の目標とする</p> |
|--|

1. 島内への持ち込みを防ぐ 4月2日時点では“県外”を流行地とします

a. 島民への島外への往来自粛

不要不急の県外への往来は自粛、県内も不急のものは自粛していただく。
県外へ渡航した場合は役場担当へ連絡していただく

b. 業務による島外への往来

役場職員は県外への出張は自粛、県内も不急のものは延期し、出張先では
3密空間を避けるように心がける

会議やライフライン整備、物品の納入による業務による往来に関しては、
村・民間事業ともに当日朝の検温と症状確認を役場担当者への報告を義務
付ける。役場担当は保健師を中心とする住民福祉課の担当とする。

c. 県外を訪れた住民への対応

原則として買い物の禁止を含めた14日間の自宅待機

(ただし自宅の庭や誰もいない場所はOK)

1日2回の検温と症状を確認し役場担当者へ報告。

医療従事者と社協の小規模多機能施設職員に関しては感染管理の徹底を
行い、毎日報告しながら業務にあたる

d. 親族の訪問

できるだけ控える。特に流行地である県外からの訪問を避ける。

やむを得ない場合は14日間以上の滞在を計画し、14日は自宅待機とする
自宅待機はcの対応と同様

e. 観光などによる来島者への対応 これは島外からの観光客と定義する

村長が村の方針として原則観光客の自粛を要請する。

新聞、HP、ラジオで宣伝し村営・民間宿泊施設へ連絡

宮古空港・多良間空港へも掲示する

観光客がどうしても滞在する場合は以下の受け入れ方針を了承いただく

f.新年度にあたり転入してきた教職員及びその家族について

“県外渡航歴がある場合は” 原則転入日から14日間は自宅待機とする。

短時間の買い物のみ許可

(島内在住者と異なり、生活用品が揃っていないため)

e.親の介護のために家族で転入してきた家族（1組 滋賀県から）

原則転入日から14日間は自宅待機

短時間の買い物のみ許可

(島内在住者と異なり、生活用品が揃っていないため)

新型コロナウイルス感染症の流行期における多良間村の観光客受入方針

- 日帰り観光客、マイル修行の立ち入りは禁止（症状のチェックができないため）
- 訪れる観光客には14日以上滞在を求める（島内宿泊施設は2週間以上の予約のみ受け付ける）
- 到着後14日間は1日2回の検温と咳等の症状の有無と共にホテルのフロントへ報告させる。その間は施設内とビーチや漁港など指定された場所以外の立ち入りを認めない
- 14日以上経過した後は自由な行動を認める
- 基礎疾患を有する観光客については原則かかりつけ医との電話診療により健康管理を行う。急変時はこの限りでない
- 以上の方針に関して事前に誓約書を送付した方にのみホテル予約を受け付ける

2.島内での感染拡大を防ぐ

a.4月中は定期外来と外傷患者以外の受診は全例診療所へ電話をする

(その後は4月末の県内流行状況を見て再度判断していく)

b.時間外診療は119コールし山中へ連絡し、救急センターの当番を立ち会い

人としてトリアージを行い診察の有無と受診のタイミングを説明する。

上気道症状（咳、鼻水、喉の痛み）、37.5度以上の発熱、強い倦怠感を認めた場合、

低リスク群は自宅待機(電話で症状確認の後は電話再診としての解熱薬の処方も考慮する)

高リスク群はその都度保健所や指定感染症病院と相談しながら診療を検討
宮古島管内は行政検査しかできないことを周知する。

医療介護従事者と集団発生の疑いがある場合は閾値を下げて検査する
ことも考慮する。

疑い症例を検査・診察する場合は診療所外のベンチまたは駐車スペースを
利用する。(またはフェリーの外席を経由して、宮古へ運び検査する)

PCR 陽性例が出た場合

症状発症から 14 日間は自宅の個室管理とする

個室から出る場合はマスクをし、手指衛生を

自宅療養が困難な場合→村営の夢パティオの 1 棟 (部屋 3 つ、6 人収容可)
を借り上げて療養を検討

この場合の消毒は看護師と医師 (場合によっては宮古保健所) が院内のアン
モニウム塩含有クロスを用いて、ガウン・ゴーグル・サージカルマスク・手袋
を使用して行う

患者の状態が悪化→搬送

村長の発表内容

新型コロナウイルス感染症の流行状況から島外観光客の受け入れを中止します

- ・島内の高齢化率が 40%、小規模多機能施設があり重症化リスクが高い
- ・狭いコミュニティなので伝染性疾患が流行しやすい
- ・島内は医師 1 人、看護師 1 人と限られた体制で運用されている
- ・N95 マスク、防護服や酸素容量など医療物品も限られている
- ・宮古、八重山管内 11 万人に対する入院病床が ICU を入れて十数床しか無い
以上の理由から、島内へウイルスを持ち込ませないことが最大最善の対応と考
え、まず 4 月 21 日まで島外からの観光客の来島の自粛を村の方針として強く
要請する。その後は県内の流行状況をみて対応を判断する。